

2018Japan National Team Report ” 監督”



報告者氏名	池田 晴紀
大会名	2018 Optimist World Championship
開催地	Limassol, Cyprus
大会期間	August 27 - September 6

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
 2. 他国OP艇を接見して撮影する際は、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

現地までの旅程	8月20日 羽田 0:01発~ドーハ4:55着 ドーハ 7:05発~ラルナカ11:25着~リマソル 車 1時間
旅行代理店	STAトラベル
渡航費用	13万
エントリー料	プレ大会 80€ 本大会 選手 550€、サポータ600€
一人当たりの宿泊費用	100€
その他食料費	昼食 15€、夕食 30€、スポーツドリンク 2€、水 0.2€、氷 3€ 食料品の物価としては、日本より少し高い感じ
チャーター料金	チャーター艇 OP 400€、コーチボート 650€
大会本部の対応	大会情報が、「WhatsApp」にて配信されていたが、ソフトがなかったため、エクアドルチームから情報を提供してもらった。出来れば、公式掲示板に出してほしい。 TracTrac の提供があったが、サーバダウンにより、ほとんど見る事が出来なかった

チームリーダーミーティングの様子、内容	今回は、オフィシャルホテルが数ヶ所別れており、値段、距離、対応も非常にバラツキがあり、高めのホテル利用者からは、不満が上がった。 各ホテルとも、ハーバーから徒歩では移動できず、忘れ物等があった場合に不便利計測の廃止。国際大会でフル計測をしている大会は少ない。その分レースを行う時間を取るべきではない。
選手達の様子で気をつけたこと	日中は特に日差しが強いため、日陰で過ごすこと。 体調管理のため、水分補給を十分にとること。 睡眠時間。
食事はどうでしたか	朝は、ホテルのバイキングで取ったが、毎日同じメニューのため、お米みそ汁を持参した。 昼食は、コップペンチを挟んだサンドイッチが提供されたが、毎日同じ物なので、毎朝おにぎりをつくり、持参した。 夕食もほぼ同じメニューなので、3日に一回は外食をした。
セキュリティーなどで気をつけたことはありましたか。	特になし
荷物に関して工夫したこと	スパー、セール、ホイールで10kgあるため、各選手の荷物を20kg以内に制限した。 食料品は、一度に持ち込まず、現地の食料品事情を見てから、後発組で必要な物を追加で持ち込んだ
日本との通信状況、手段	Wi-Fiルーターを持参
他国チームとの国際交流の実施	毎日出航が12時過ぎのため、午前中は、海水浴、トランプなどをして交流をした
持参してよかった食品、医薬品等	炊きこみご飯の素、インスタントラーメン、のり、各種おこぎりの用の具 各自、普段病院から処方されている薬を、お薬手帳をとともに持参。 虫よけスプレー、洗濯洗剤
次回参加者へアドバイス	ハーバーとホテルの距離がある場合は、選手の移動に対する負担を考えると、レンタカーも移動手段の一つとして検討する必要性を感じた
JODAへの要望	ここ最近のワールドは、軽風傾向にあるように思います。実際に他国選手は、その時々風の状況等により参加する選手を選出しているようです。今回も、軽風シリーズとなり、体重25kg～40kgの選手が大半でした。選考会の順位にこだわらず、その時々会場の状況に応じて選手を選ぶことも勝つためには必要かと思えます。
その他	今回、AGMを、JODAの理事で参加頂きましたが、今後も参加の検討をお願いしたいです。期間中JODA会長から、理事は何時来られるか、総会前にスピーチをしてほしい、50周年ですよ、など非常に熱心に日本の事を考えて頂いている様子でした。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会